



但馬やまびこの郷
令和6年2月
Web版

「学校に行きづらい」「教室に入りにくい」児童生徒の
保護者のみなさんにお便りします

やまびこ



兵庫県立但馬やまびこの郷

URL <https://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>

E-Mail Tajimayamabiko@pref.hyogo.lg.jp

自分の道の見つけ方

令和5年10月29日(日)に当所で行われたやまびこフェスタにおいて、前所長のまこさんと、小・中学生のときに当所を利用していた大学生・大学院生と当所スタッフによるトークショーが開かれました。内容の一部を紹介します。

Q 学校に行っていないとき何をしてお過ごし、どんなことを考えていましたか。

学校に行っていないときに考えていたことは、その時期によって違います。行けなかった頃はゲームをしていて、登場人物に自分の気持ちを投影していました。あり余ったエネルギーを発散しようとしていたのかもしれない。小学4年からウサギを飼い始めました。そのうち、学校のウサギをさわりに行くようになり、次第に学校への恐怖心が和らぎ、学校とのつながりが持てるようになりました。



Q 周りの人のどんな対応がうれしかったですか。



笑顔で「おはよう」ってあいさつしてくれるなど、学校に行っている子と同じように接してくれることがうれしかったです。

Q 高校や大学等に進学しようと思ったきっかけは何ですか。

目標が「自立した大人になる」だったので、そのためには生活費を自分で稼げるようになることが必要で、大学に行くことで就職がしやすくなるなどのメリットがあると感じたからです。また、好きなことをもっと勉強したいと思ったこともきっかけです。



Q 後輩たちに伝えたいことは何ですか。



好きなことや嫌じゃないことを見つけて取り組んでほしいです。経験を通して興味を広げることもできます。スマホも楽しいかもしれないけど、肌で感じる経験もいい。「こうあるべき」という考えにとらわれず、自分の心に素直に生活してほしいです。

最後に、「自分らしくいられる場所で過ごす経験が大切ではないか」という話がありました。そのような経験が「心の支え」となるということでした。子どもたちや保護者のみなさまが、そのような居場所で素敵な時間を過ごされることを願っています。

てっちゃんからのメッセージ

「お子さんがお子さんらしく、

あなたがあなたらしく生きるために」

兵庫県立但馬やまびこの郷所長 齊藤 誠一

あなたらしく生きていますか？

昨年の親の会では、こんな問いから話を始めました。直接答えは聞いていませんが、「私らしく生きています」という方もいらっしゃれば、「本当はこんな生き方のはずではなかった」という方もいらっしゃったと思います。私自身はといえば、100%自分の思い通りではないとしても、そこそ自分らしく生きているのかなとは思っています。では、あなたはあなたらしく生きていますでしょうか。



何が今のあなたを作ってきたのでしょうか？

今の生き方を振り返ったとき、こういった行動や性格は親と似ているなあと思えば親からの遺伝が関係しているのかもしれませんが、小さい頃からのびのび育てられたせいかなと思えば親の子育てが関係しているのかもしれませんが。また、小学校5年の担任教師との出会いから今の職業を決めたとか、中学校の部活動での練習の厳しさが今の自分を作ったといったこともあるかもしれません。心理学では古くから、今の自分のありようを決めるものは遺伝か、環境かという議論がなされてきましたが、現在は両方が関係していると言われていています。

たとえば性格でいえば、だいたい50%くらいが遺伝によって決まると言われています。50%も遺伝の影響を受けるとも言えますし、50%しか影響を受けないととも言えます。このように、性格だけでなく、我々の心の特徴は遺伝に基礎を持ちながら、育てられ方、人間関係などの環境によっても大きく変わるといえます。



がんばりがすべてでない

学校へ行けない、あるいは行きにくいお子さんにとって、今の学校で自分らしく生きているといえるでしょうか？人間は生きていくために環境に適應する力を持っていますが、適應できないときもあります。たとえば、内向的なお子さんが学校で自分の気持ちを仲間に伝えられずに、嫌な思いばかりをさせられて、だんだん学校から足が遠のいている場合を考えてみましょう。環境への適應を考えれば、「このクラスはいい子ばかりだから、ちゃんと自分の気持ちを伝えればわかってもらえるよ。だから、まず勇気を出して自分から気持ちを伝えないとダメだよ」というアドバイスができるかもしれません。ただ、多くの場合、こうしたお子さんたちは、そのようなこと

がわかっている、自分から動けないのです。もしクラスの仲間から話を聞いてもらえる場を設けたり、その子が話すときにさりげなく教師が間に入ったりするなどのサポート、つまり環境調整を行えば、自分の気持ちを話せるようになるかもしれません。

生きる環境を選んでみる

こうした意味で、「やまびこの郷」はみなさんに選んでいただいた、これまでとは異なる環境のひとつです。「やまびこの郷」では勉強もあまりしないで、遊んでばかりいるから、楽しく過ごせて当たり前というご意見をいただくことがあります。しかし、これまでと同じ環境でしたら、「やまびこの郷」の意味はありません。先の例で言えば、学校では自分の気持ちを伝えられなかったお子さんが「やまびこの郷」ではスタッフと気軽に話をしたり、仲間とも楽しくやりとりをしたりするようになることはめずらしくありません。このように、「やまびこの郷」では、そのお子さんにとって生きやすい環境に配慮し、心のエネルギーを蓄え、自分らしく生きることができるように支援しています。それにより、このまま「やまびこの郷」に通うか、新たな環境として教育支援センターやフリースクールを選ぶか、あるいは学校にもチャレンジしてみるか、自分らしく生きていくための場（環境）を選んでいけるようになるかもしれません。



保護者様にとってのお子さんの不登校

不登校のお子さんをお持ちの保護者様の多くは、まさかご自分のお子さんが不登校になるとは思わなかったのではないのでしょうか。ご自分のされたいことを減らして、お子さんに多くの時間や気持ちを使われていることと思います（「やまびこの郷」への送り迎えも1日仕事になっているかと思えます）。なかには、生活に疲弊し、自分は何のために生きているのかといった疑問を持たれている方もいるかもしれません。こうした気持ちになっても当然ですし、このような気持ちになることを否定されるべきではありません。

その上で、もしできれば、こうした今の状況をこれまでに経験のない環境と考えてみてはいかがでしょうか。お子さんが毎日学校へ通っていれば気づかなかったことに気づけるかもしれません。お子さんに多くのエネルギーを割かれることで、自分が本当にしたかったことに気づけるかもしれません。「やまびこの郷」で、たまたま一緒になった保護者様から自分が知らなかった生き方を聞けるかもしれません。「やまびこの郷」の行き帰りに但馬の大自然に触れることができるかもしれません。

お子さんが不登校ですと、保護者様も楽しんではいけないとか、自分の好きなことをしてはいけないと思いがちですが、そのようなことはありません。一旦立ち止まって、ご自分の生き方を振り返り、本当の自分の生き方を考えてはいかがでしょうか。お子さんも悩みながら自分らしい生き方を模索しているように、保護者様にも今を「せっかく」の機会と考えていただき、自分らしい生き方を模索したり、それを実行したりすることをおススメしたいと思います。

出会い！感動！！地域やまびこ教室

今年度も当所のスタッフが県内5カ所に出かけ、体験活動や保護者交流会を行う「地域やまびこ教室」を実施しました。子どもたちの活動の様子と参加された方の感想を紹介します。



動物とのふれあい・スポーツ体験
(県立神出学園)



カヌー体験
(県立海洋体育館)



淡路アドベンチャーラリー・つり
(国立淡路青少年交流の家)



木工工作
(県立山の学校)



ひょうご冒険教育 (HAP)
(県立嬉野台生涯教育センター)

児童生徒の感想

- ・自然の中で動物とふれあったり、友だちとお話をしたりして、ふだんとは違う場所で活動できて楽しかった。
- ・カヌーをこいだことが、とても楽しかった。

- ・夜に仲の良い子と一緒にわいわいしゃべりながら歩いたことと、月に照らされて、キラキラした海を見たことが印象に残った。

保護者交流会での保護者の方の感想

- ・それぞれに大変な思いをされていること、そんな中でもできることを見つけて頑張っていることを聞いて励みになった。
- ・地域やまびこ教室は、やっぱり親子でホッとすることができる大切な居場所だと改めて感じた。
- ・一人ではないと感じられ、勇気とエネルギーをもらった。親同士、夜中まで話ができてとても楽しく満足できた。



進路相談会

令和5年9月24日(日)に、県立但馬やまびこの郷で進路相談会を行いました。県立神出学園、県立山の学校、生野学園高等学校、吉備高原学園高等学校、日ノ本学園高等学校、クラーク記念国際高等学校三田キャンパス、第一学院高等学校養父本校、青山高等学校、F. S. 播磨西高等学院、おおぞら高等学院姫路キャンパス、三田モードビジネス専門学校、N 高等学校・S 高等学校から各校について説明をしていただいた後、個別ブースでの相談を行いました。



兵庫県立但馬やまびこの郷保護者向け機関紙「やまびこ」web版 ●令和6年2月
●兵庫県立但馬やまびこの郷 ●〒669-5135 兵庫県朝来市山東町森字向山 3045-101
●TEL (079) 676-4724 ●FAX (079) 676-4721